

「平成28年度 中国地方技術研究会」  
自由課題の募集要領

1. 自由課題

自由課題の発表者は以下の組織からの推薦とする。

- ①国土交通省中国地方整備局（職員）
- ②各県、各市（職員）
- ③広島高速道路公社（職員）  
本州四国連絡高速道路（株）（職員）  
西日本高速道路（株）中国支社（職員）
- ④各県土木施工管理技士会（会員）
- ⑤中国地方の大学等（学生）

2. 課題内容

自由課題の課題内容は別紙-1に示す研究テーマより選定する。

なお、自由課題の選定にあたっては各職場、各研究室等の内部で検討会を実施する等の措置を講ずること。

3. 発表時間

個人発表とし、1課題につき発表時間13分、質疑応答7分の合計20分とする。

4. 発表にあたっての提出資料（①～③を提出のこと。）

①課題の概要

提出様式：別紙-2

作成方法：別途送付する様式に入力し提出する。

使用可能ソフト：Microsoft Word 2010またはJustsystem-太郎Proにて読取可能なアプリケーションとする。

**提出期限：平成28年5月19日（木）**

提出方法：電子データ（オリジナルデータ）を電子メールで提出すること。

提出担当：中国地方整備局職員、各県職員及び各市職員は、中国地方技術研究会担当者が所属組織発表分をとりまとめ提出すること。その他の組織については発表者自ら提出する。

②論文原稿

提出様式：別紙-3

作成方法：中国地方技術研究会発表論文作成要領による。印刷は白黒印刷にて行うため、カラーの図表等を用いる場合は印刷時の状態について留意すること。

**提出期限：平成28年6月14日（火）**

提出方法：発表者自らがPDFデータを電子メールで提出すること。

③プレゼン資料

提出様式：Microsoft Power point 2010にて動作確認を行うこと。

作成方法：プレゼン資料は1ファイルにまとめ、1ファイルの容量は50 MB以下とする。

使用可能ソフト：Microsoft Power point 2010にて読取可能なアプリケーションとする。

**提出期限：平成28年7月5日（火）**

提出方法：発表者自らがCD-R又は電子メール等で提出すること。

④注意事項

①～③の各資料の提出期限は厳守のこと。期限以降の提出（変更含む）は特別な理由がない限り認めないものとする。従って、内部選考会及び決裁の日程については提出期限を考慮すること。また、プレゼン資料に動画を使用する場合は、必ず自分以外のパソコンでも動作することを確認後送付すること。（リンク先の確認）

※発表課題がない場合も「①課題の概要」の提出期限内に事務局までメール等にて報告すること。

⑤提出先：中国地方技術研究会事務局

中国地方整備局 企画部 技術管理課 基準第三係長 和田

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30

TEL：082-511-6152

メールアドレス：wada-s87fg@mlit.go.jp

※上記により難しい場合は、事務局まで連絡すること。

「平成28年度 中国地方技術研究会」  
ポスターセッションの募集要領

1. ポスターセッション

ポスターセッションは、各事務所、地方公共団体等から推薦のあった新しい技術開発などを、ポスター等の展示により研究会参加者に紹介するものである。ポスターの他、パソコンを使用した紹介や実物・模型等で発表することが効果的なものも可とする。なお、技術的な独創性及び展示物等のわかりやすさの観点から審査を行い、優秀なポスターに対し、表彰を行う。

ポスターセッションの発表者は以下の組織からの推薦とする。

- ①国土交通省中国地方整備局（職員）
- ②各県、各市（職員）
- ③広島高速道路公社（職員）  
本州四国連絡高速道路（株）（職員）  
西日本高速道路（株）中国支社（職員）
- ④各県土木施工管理技士会（会員）
- ⑤中国地方の大学等（学生）

※推薦が複数ある場合は、各出展者等において優先順位をつけること。

2. 提出方法等

- ・提出物：ポスターセッション概要書（別紙－4）
- ・提出期限：平成28年5月19日（木）
- ・提出方法：発表者自らが電子データ（オリジナルデータ）を電子メールで提出すること。
- ・提出先：中国地方技術研究会事務局  
中国地方整備局 企画部 技術管理課 基準第三係長 和田  
〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30  
TEL：082-511-6152  
メールアドレス：wada-s87fg@mlit.go.jp

## 自由課題の研究部門及び研究テーマ

研究部門	研究テーマ
①イノベーション部門	<p>イノベーション部門は、下記テーマについて、イノベーションに資する技術や取組(建設マネジメント等に関する取組を含む)について発表を行うものとする。特に、新技術の活用関連(NETIS登録技術においてフィールド提供型等で工事を行った事例や情報化施行の活用等)について積極的に推薦されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会資本の整備に当たり、諸課題(建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全、維持管理・更新等)の解決に資する、官・民間等で開発された設計・施工等に関する優れた技術を公共事業において活用された事例</li> <li>○建設生産性向上(入札・契約の工夫、新技術の活用、監督・検査の合理化等)</li> <li>○国土・地球観測基盤情報等</li> </ul>
②アカウントビリティ部門	<p>アカウントビリティ部門は、下記テーマについて、単なる取組事例の報告ではなく、国土交通行政と国民の「生活」との距離をいかにして詰めていくかという視点から発表を行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会資本の新設・改良の効果(ストック効果)に関する広報</li> <li>○社会資本の維持管理や災害対応に関する広報</li> <li>○住民等との合意形成</li> </ul>
③一般部門(テーマ1)【安全・安心】	<p>一般部門(テーマ1)【安全・安心】は、下記テーマ(イノベーション部門及びアカウントビリティ部門を除くもの)について発表を行うものとし、各現場での創意工夫や、独創性があり、今後の汎用性が期待されるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メンテナンスサイクルの構築による安全・安心の確保とトータルコストの縮減・平準化の両立</li> <li>○南海トラフ地震等の大規模地震の発生に備えた地震・津波対策の推進</li> <li>○激甚化する土砂災害等の気象災害に対するリスク低減</li> <li>○災害発生時のリスクの低減のための危機管理対策の強化</li> </ul>
④一般部門(テーマ2)【活力】	<p>一般部門(テーマ2)【活力】は、下記テーマ(イノベーション部門及びアカウントビリティ部門を除くもの)について発表を行うものとし、各現場での創意工夫や、独創性があり、今後の汎用性が期待されるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日々の暮らしの安全を守る交通安全対策等の推進</li> <li>○コンパクト+ネットワーク化による都市機能の維持・確保</li> <li>○「小さな拠点」の形成等による中山間地等の居住環境の向上や生活サービスの充実</li> <li>○安心して生活・移動できる空間の確保(バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進)</li> <li>○瀬戸内海や日本海、中国山地等の豊かな自然環境の保全と良好な景観、都市空間の形成</li> <li>○経済の持続的発展と自然との共生を両立した低炭素・循環型社会の実現</li> <li>○ものづくり産業の集積や地理的な優位性を活かした国際競争力強化のための物流・人流ネットワーク基盤整備</li> <li>○世界遺産、瀬戸内海や日本海等の中国ブロック固有の地域資源を活かした観光振興</li> </ul>

※一般部門の研究テーマは、「中国ブロックにおける社会資本整備重点計画(平成28年3月)」に基づいて設定

ふりがな .....  
題名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

所属等 ○○事務所 ○○課

発表者 氏名 中国 太郎

(氏名にはふりがなをつけること)

イノベーション部門

アカウントビリティ部門

一般部門 (安全・安全 / 活力)

1. 概要

2. 現状と課題(全国での活用事例含む)

3. 課題に対する解決策と解決策に至るまでの経緯

4. 技術活用後の評価

5. 今後の課題とその改善方策(案)、他の現場への活用提案等

# 中国地方技術研究会発表論文作成要領 題 名

中国 太郎<sup>1</sup>・中国 花子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〇〇局 〇〇部 〇〇課 (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)

<sup>2</sup>〇〇局 〇〇事務所 〇〇課 (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)

論文要旨は、要旨中央に明朝体10ptフォントを用いて、7行以内で記述して下さい。なお、この作成要領は、論文を作成するために必要な、レイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述すると同時に、論文原稿そのものの体裁(A4)をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を作成することができます。

キーワード 作成要領, 書式, PDFファイル, 国土技術研究会

## 1. ページ設定とページ数

全てのページのマージンはこのサンプルにありますように上辺20mm, 下辺25mm, 左右ともに20mmに設定してください。

### (1) 指定課題のページ数

指定課題のページ総数は10ページ以内とします。

### (2) 自由課題のページ数

自由課題のページ総数は4ページ以上6ページ以内とします。

## 2. タイトルページ

タイトルページは2つの部分で構成される。

(a) タイトル部分：横1段組 (題目, 著者, 所属, 論文要旨, キーワード)

(b) 本文部分：横2段組

### (1) タイトル部分のレイアウトとフォント

タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ10mmずつ大きくとって下さい。すなわち、A4用紙の幅に対して左右それぞれ30mmずつのマージンをとります。そして以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

・タイトル：ゴシック体20ptフォント, センタリング  
(約15mmのスペース)

著者名：明朝体12ptフォント, センタリング

(約5mmのスペース)

著者所属：明朝体9ptフォント, センタリング

(約10mmのスペース)

論文要旨：明朝体10ptフォント, 7行以内

(約5mmのスペース)

キーワード：明朝体10pt, 5つ程度, 2行以内

著者と所属とは肩付き数字で対応づけ、上記のように並べて下さい。

### (2) 本文部分のレイアウトとフォント

本文とキーワードの間に約10mmのスペースを空けてください。

本文は2段組で、左右のマージンは20mmずつ、段と段との間のスペースは約6mmとします。

本文には明朝体10ptフォントを用いて下さい。

### (3) ヘッダとフッタ

ヘッダとフッタには、ページ番号等をつけないでください。

## 3. 一般ページ

第2ページ以降はタイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成します。

### (1) 脚注および注

脚注や注はできるだけ避けて下さい。本文中で説明するか、もしくは本文の流れと関係ない場合には付録として本文末尾に置いて下さい。

#### 4. 見出し（見出しが1行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返す）

##### (1) 見出しのレベル

見出しのレベルは章、節、項の3段階までとします。章の見出しはゴシック体とし、2などの数字に続けて書きます。また、見出しの上下にスペースを空けます。このファイルのサンプルから分かるように、上を2行、下を1行程度空けて下さい。

##### (2) 節の見出し

節の見出しもゴシック体で、(4)などの括弧付き数字を付けます。見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい。

##### a) 項の見出し

項の見出しは、括弧付きアルファベットを付け、上下には特にスペースを空けません。項より下位の見出しは用いないで下さい。

#### 5. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式(1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z \, dz \quad (1b)$$

のように本文と独立している場合でも、 $C_D, \alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します。

数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰めにします。

#### 6. 図表

##### (1) 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。原稿末尾にまとめたりしてはいけません。また、図表はそれぞれのページの上部または下部に集めてレイアウトして下さい。図表の横幅は、「2段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表-1や図-2のように「1段の幅いっぱい」のいずれかとします。図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置

表-1 表のキャプションは表の上に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

資料番号	高さ $h$ (m)	幅 $w$ (m)
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

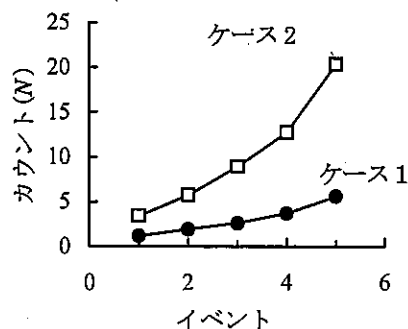


図-2 図のキャプションは図の下に置く

することはやめて下さい。

図表と文章本体との間には1~2行程度の空白を空けて区別を明確にします。

##### (2) 図表中の文字およびキャプション

図表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意してください。

長いキャプションは表-1のようにインデントして折り返します。

#### 7. 参考文献の引用とリスト

参考文献は出現順に番号を振り、その引用箇所でのように<sup>1)</sup>上付き右括弧付き数字で指示します。参考文献はその全てを原稿の末尾にまとめてリストとして示し、脚注にはしないでください。

#### 8. 最終ページのレイアウト

最終ページの1段目と2段目の末尾の長さがほぼ揃うように調整して下さい。

## 9. その他注意事項

### (1) 論文の提出方法

論文は、提出要領に従い電子データによる提出に限ります。なお、ファイルはPDF形式とし、ファイルの要領は3MB程度とする。

### (2) 論文の印刷

発表会場には、事務局にて論文の印刷物を用意します。印刷は白黒印刷にて行いますので、カラーの図表等を用いる場合は、印刷時の品質について留意して下さい。

### (3) 論文中の年の表記

年の表記は、年号ではなく、西暦にして下さい。

謝辞：「謝辞」は「結論」の後に置いて下さい。見出しとコロンをゴシック体で書き、その直後から文章を書き出して下さい。

### 付録 「付録」の位置

「付録」がある場合は「謝辞」と「参考文献」の間に置くこと。

### 参考文献

1) 土木学会：土木学会論文集の完全版下印刷用和文原稿作成例





